

リフレッシュ放流による下流河川の環境改善

～ 川の環境を守るため一時的に放流量を増やします ～

夏場の大滝根川の河川環境を守るため、三春ダムではリフレッシュ放流を実施します。その際、一定期間水位を保って外来魚（ブルーギル）の産卵を促し、産卵後に水位を低下させることで産卵した卵を干し上げて数を減らす取り組みを合わせて実施します。

リフレッシュ放流により赤沼地点で最大約70cm水位が上昇する見込みです。河川を利用される方は十分に注意してください。

1. 概要

夏場は大滝根川の流量が減少し、枯れた水草がいつまでも流れなかったり、よどみが発生したりすることがあります。

これらを解消すべく、三春ダムでは「リフレッシュ放流」を実施します。

リフレッシュ放流は、通常、ダムからの放流量が毎秒2～3m³であるものを、一時的に最大毎秒20m³に増やすことで、

- ①川の石に付着した古い付着藻類を洗浄し、新しい付着藻類の成長を助ける
- ②川のよどみ（臭気等）を解消する
- ③底生動物・魚類の良好な生育環境の保全を図る

の効果を期待するものです。

また、この際、一定期間水位を保って外来魚（ブルーギル）の産卵を促し、産卵後にリフレッシュ放流を実施してダムの水位を下げることで産卵した卵を干し上げて数を減らす取り組みを実施します。（平成24年度から実施）

実施期間は、平成27年6月26日から10月9日までの隔週を予定しています。ただし天候（降雨の場合など）により、中止又は実施日を変更する場合があります。

○別紙：リフレッシュ放流状況と効果・ブルーギル産卵床の干し上げ概要

【発表記者會 郡山記者クラブ】

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 三春ダム管理所
福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4

電話 0247-62-3145

FAX 0247-62-3170

管理所長 すな こ つとむ
砂子 勉（内線201）

管理係長 やま うち なお や
山内 尚也（内線352）

リフレッシュ
放流状況



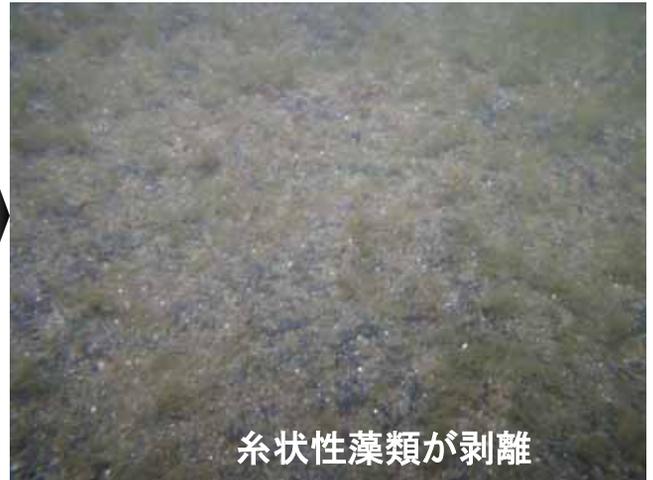
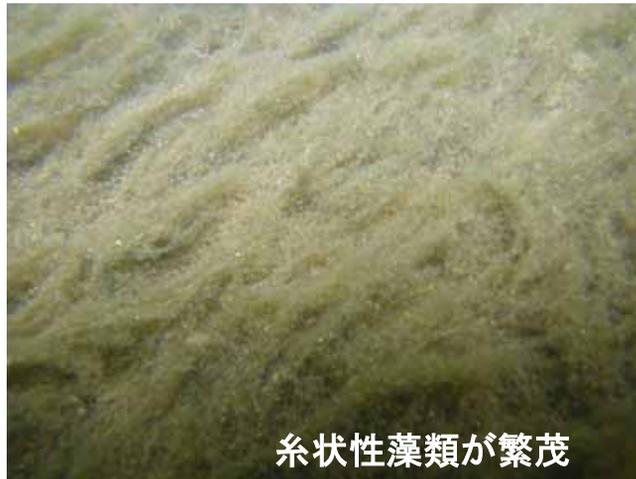
ダム流下量
約20m³/s

川の様子

リフレッシュ放流前

【付着藻類の剥離】

リフレッシュ放流後



【よどみの解消】

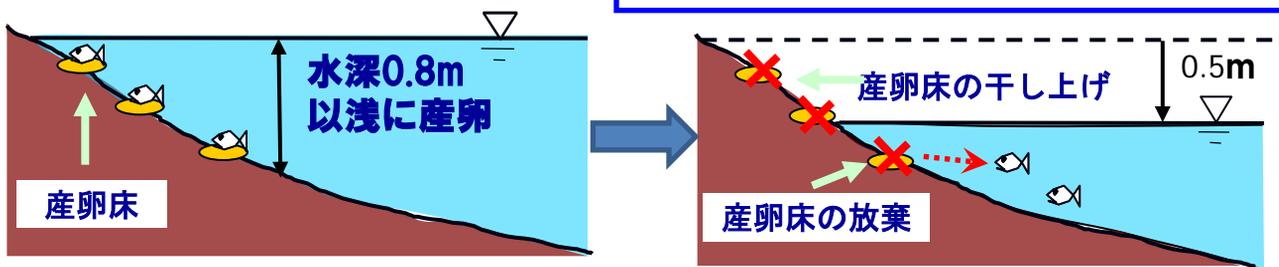


リフレッシュ放流を利用したブルーギル産卵床の干し上げ

平成23年度まで
リフレッシュ放流での
水位低下幅は約0.3m

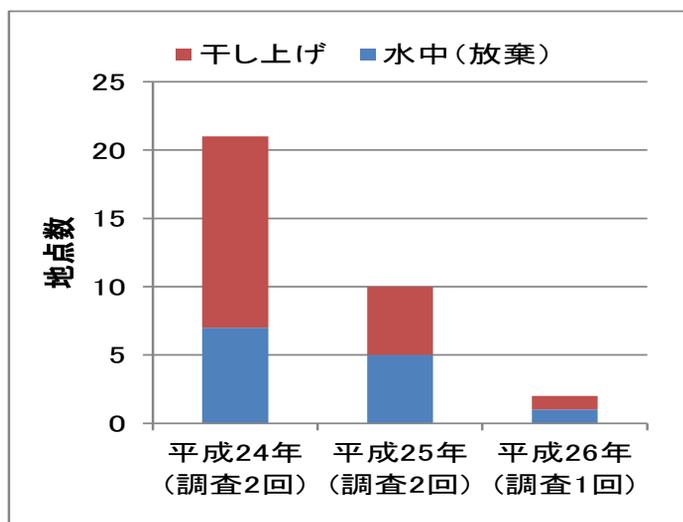


平成24年度
調査の結果、
・三春ダムのブルーギルの産卵水深は0.8m以浅
・リフレッシュ放流の時期とブルーギルの繁殖期が重なる
⇒0.5m水位を下げた結果、ブルーギルの産卵床を干し上げ又は放棄させることが出来た。



ダムを水位を下げ、浅瀬に産み落とされた卵を干し上げる

リフレッシュ放流で「干し上げ」又は「放棄させた」ブルーギル産卵床数（平成24～26年）



※H26年度は、出水があり予定していたリフレッシュ放流（干し上げ）を実施出来なかった

※ブルーギルの繁殖開始時期
水温が**20℃以上**で産卵を開始（→ 6月中旬～7月下旬頃）